学校番号	104

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	NEXT 数学Ⅲ　（数研出版）						
副教材等	CONNECT 数学Ⅲ　（数研出版） チャート式　解法と演習　数学Ⅲ＋C　（数研出版） クリアー数学演習Ⅲ・C[複素数平面，式と曲線]　受験編　（数研出版） メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C[ベクトル]　受験編　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書の例題,重要例題を中心に授業の予習復習を丁寧に行ってください。問題演習については、すぐに答えを見るのではなく、問題に粘り強く向き合い考え抜く練習をしてください。また、途中式や考え方を論理的に記述できるようにしましょう。併せて、数学Ⅲについては、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・C の知識を理解、習得している前提での授業となるため、必要に応じて必ず各自で今までの数学の予習復習を行ってください。

2　学習の到達目標

(1) 極限，微分法及び積分法の考えについての概念や原理・法則を体系的に理解し，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 事象を数学化した上で，いろいろな式，関数の局地的な性質や大域的な性質に着目し，数学的に考察する力，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

(3) 事象を数学的論拠に基づいて考察，判断を行い、積極的に数学を活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a: 知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	極限，微分法および積分法における概念，原理・法則などを体系的に理解し，既習の知識と関連付けながら基礎的な知識を身に付けている。 また、事象を数学的に解釈し，表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	極限，微分法および積分法において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	極限,微分法および積分法における考え方や体系に関心をもつとともに,数学のよさを認識し,それらを事象の考察に積極的に活用し,数学的論拠に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　関数	1　分数関数 2　無理関数 3　逆関数と合成関数	a：分数関数，無理関数，逆関数および合成関数に関する基本的事柄を理解し，事象を表現･処理することができる。 b:関数のグラフ上での位置関係や性質を理解し，論理的に考察・活用することができる。 c：分数関数，無理関数，逆関数および合成関数に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第2章　極限	第１節　数列の極限 1　数列の極限 2　無限等比数列 3　無限級数 第２節　関数の極限 4　関数の極限（１） 5　関数の極限（２） 6　三角関数と極限 7　関数の連続性	a:数列および関数の極限の事柄について内容を理解し極限や級数の値を求めるなど事象を表現・処理することができる。 b：数列および関数の極限について，式を多面的に捉え，目的に応じ変形させるなど，数学的な思考力や考え方を身に付けている。 c：数列および関数の極限に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第3章　微分法	第１節　導関数 1　微分係数と導関数 2　導関数の計算 第２節　いろいろな関数の導関数 3　いろいろな関数の導関数 4　第ｎ次導関数 5　曲線の方程式と導関数	a：微分可能性および様々な関数の導関数について理解し，事象を表現・処理することができる。 b：導関数の定義に基づき，様々な関数の導関数の考察ができる。関数の連続性や第ｎ次導関数に関して考察することができる。 c：様々な関数の導関数に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

2学期	第4章 微分法の応用	第1節　導関数の応用 1 接線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の値の変化 4 関数のグラフ 第2節　いろいろな応用 5 方程式，不等式への応用 6 速度と加速度 7 近似式	a:微分と物理的な内容との関係性や1次近似、第2次導関数に関する基本的事柄を理解し,事象を表現･処理することができる。 b: 1次近似､第2次導関数に関する数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 物理との関係性や1次近似､第2次導関数に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第5章 積分法とその応用	第1節　不定積分 1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法と部分積分法 3 いろいろな関数の不定積分 第2節　定積分 4 定積分とその基本性質 5 置換積分法と部分積分法 6 定積分のいろいろな問題 第3節　積分法の応用 7 面積 8 体積 9 道のり 10 曲線の長さ	a: 置換積分法や部分積分法など様々な積分に関する基本的事柄を理解し求めることができる。 b: 曲線の長さや回転体の体積等を積分で表すことができ、それに関する数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 様々な積分方法やその活用法に関心をもち、その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
3学期	問題演習	総合問題演習	a: 既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身に付けている。 b: 問題を解くための条件を導き、それを数式化し、論理的に表現することができる。 c：積極的に問題演習を取り組み、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用しようとしている。	確認テスト	提出ノート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度